

# CORIAN®

## NEWS




タカラスタンダード ホーローシステムキッチン「レミュー」  
インテリアに溶け込む  
システムキッチンへ

東京都 T氏邸  
デザインも機能も、  
温めてきた理想どおりに

大阪府 K氏邸  
異素材の組み合わせ  
浮遊するキッチン

リブレ 宮崎本社ショールーム  
どんな雰囲気も自由自在。  
オーダーメイドの楽しさを実感

医療法人社団敬悠会 副都心病院  
いつまでも快適に。  
地域の人を見守るカウンター



インテリアに溶け込む  
システムキッチンへ

タカラスタANDARD  
ホーローシステムキッチン「レミュー」

ホーローシステムキッチンで圧倒的なシェアを誇るタカラスタンダードがフラッグシップモデル「レミュー」を10年ぶりにフルモデルチェンジ。ホーローならではの光沢のある美しい扉と組み合わせるワークトップには、新たにコーリアン®2色も選べるようになった。そこで、新しい「レミュー」の特長と、コーリアン®の採用について、タカラスタンダードの重原政子氏にお話をうかがった。

「ライフスタイルの変化などから、システムキッチンも使いやすさだけでなく、素材やデザイン性、さらにインテリアとのコーディネートが求められるようになっていきます。今回のフルモデルチェンジでは、扉のデザインをスタイリッシュに刷新し、柄の上にもう一度グロスをかけることで深みのある扉カラーを実現するなど、最上位モデルにふさわしい「本質的な美しさ」を追求しました。ワークトップの素材については、レミューのデザイン性、グレード感に合うものを検討しました」。

採用されたのは、プライベートコレクションのレインクラウドとクラムシェル。これまではない大胆な流れ模様でありながら、レミューの扉カラーと合わせやすく、また、幅広いテイストのインテリアとコーディネートしやすいことも選定のポイントとなった。

また、人気のアクリル人造大理石製の「家事らくシンク」と、シームレス加工が可能な点も、コーリアン®がワークトップのラインナップに加わった理由のひとつ。女性目線で開発された「家事らくシンク」は、作業のしやすさ、お手入れのしやすさを追求した三層構造で、排水溝まですき間がなく、ごみや汚れもたまりにくい設計。コーリアン®のワーク



「洗う・切る・捨てる」の一連の作業が、シンク内でスムーズに完結する「家事らくシンク」。コーリアン®のワークトップともシーム接着が可能のため、すき間がでず、掃除の手間もかからない。写真はプライベートコレクション レインクラウド。

トップともすき間なくつなげることができると、掃除がしやすく衛生的だ。

「家事らくシンクは、調理スペースとしても使えるよう、さまざまな工夫を盛り込みました。これまでワークトップで行っていた食材を切る、下処理するといった作業はすべてシンク内で行えるため、ワークトップは散らからず、盛り付けなどの仕上げの作業に広々と使うことができます。ワークトップの上を片付くことで、自然ときれいに保ちたい気持ちやデザインにこだわりたい気持ちも生まれるのではないだろうか」と重原氏。コーリアン®のメンテナンスのしやすさはもちろん、優れた耐衝撃性、耐熱性、耐候性も採用に踏み切りやすかった理由とのこと。

コーリアン®のワークトップを採用した「レミュー」は全国のタカラスタンダードショールームで展示中。強く美しいホーローの扉とコーリアン®の洗練された組み合わせを、ぜひご覧いただきたい。

使用色  
レインクラウド、クラムシェル



●お問い合わせ タカラスタンダード株式会社  
<http://www.takara-standard.co.jp>  
※お電話でのお問い合わせは各支店・支社・ショールームへ  
お願いいたします。



デザインも機能も、  
温めてきた理想どおりに

東京都 T氏邸



「まずはキッチンありきの家づくりでした」と話してくださるTさんの新居は、変形地を巧みに生かした住まい。プライバシーをしっかり守る外観からは想像できないほど開放感と光にあふれる室内で、もともと条件のよい南側にキッチンがある。コの字の壁付けキッチンにカウンターをプラスして、ゆとりある作業スペースと収納力、充実した設備を搭載したキッチンを製作したのは、創業96年の職人技で、オーダーメイドキッチンを手がける田中工藝だ。

「キッチンは家の中で一番いろいろな物を置く場所です。料理をするときにできるだけ無駄な動きがないよう、機能的なレイアウトや収納にしたいと思っていました」とTさん。なんと高校生の頃から、インテリア雑誌を眺めて、理想のキッチンのイメージを膨らませていたそう。濃色のワークトップも、当時見たキッチンの中で印象に残っていたもの。

「グレーと木目の組み合わせにしたいと決めていました。ワークトップは田中工藝さんのショールームでコーリアン®のサンプルをたくさん見せていただいて、想い描いていたイメージに合うものを見つけたことができました」というTさんが選んだのは、プライベートコレクションのラバロック。グレーの地にアンバーとゴールドの流れ模様に大小のクラッチが入った表情豊かなカラーだ。

「T様はキッチンに対するこだわりをしっかりと持ち、ご要望も具体的でしたので、可能な限りその理想に近づけるように設計を吟味し、ふさわしい素材を提案しました」と田中工藝のスタッフ。

今回コーディネーターとしてキッチン製作に関わった北洋交易の担当者も、ワークトッ

プにはコーリアン®を推薦されていたそう。「お手入れのしやすさなど使い勝手がよいことと、色柄の豊富さ。また、素材そのものだけでなく、接合に使用するシーム剤に至るまで、品質が安定していると聞いています。T様のようにキッチンのデザインにも、機能性にもこだわりをお持ちのお客様には、コーリアン®をおすすめすることが多いですね。今回は特に、これだけのサイズのキッチンで、コの字形であっても、目地がまったく入らずかっこよく納めることができました。T様に喜んでいただけたことが何よりです」とのこと。

実際に使用されている感想をTさんにかがうと、「落ち着いたカラーは、調理をしているときも目に優しく、何よりお料理がおいしそうに見えます」と話してくださいました。キッチンと同素材で製作したカウンターではクッキーの型抜きをするなど、お子さんと一緒にお菓子づくりも楽しまれているそう。

使用色  
ラバロック



- 設計 フリーダムアーキテクトデザイン株式会社
  - 施工 柏倉建設株式会社
  - キッチン製作 株式会社田中工藝
- 東京都渋谷区代々木 4-28-7 西参道テラス N1  
TEL : 03-6300-4437 <http://tanakakougei.jp/>  
●協力会社 北洋交易株式会社

# 異素材の組み合わせ 浮遊するキッチン

大阪府 K氏邸



お客様一人ひとりと丁寧な打ち合わせで、「自分らしさを自由に表現したスタイルのあるキッチン」を提案するKOBESTYLE。素材や構造、設備機器、施工まで、キッチンに関わるすべてに精通するスタッフが、どんな小さな要望にもきちんと耳を傾け、調理や片付けがストレスなく行えるよう的確なアドバイスもしながらプランを練り上げる、オーダーメイドキッチンのプロ集団だ。

同社が製作したK氏邸のキッチンは「コーリアン®×ステンレス×ガラス」という異素材の組み合わせが目をひく。デザインを手がけたのは、K氏邸を設計した建築家の菅匡史氏。「施工はモダンデザインがお好きな方ですが、何年もかけて協議を重ねていく内に、彼の中の原風景に別のものが見えてきました。そこで、モダンデザインの中により普遍性のあるデザインが生まれました。コーリアン®は、モダンデザインを表現する上で、必須の素材だと思っています。その普遍性、無垢感、連続感、木と同じように人間との親和性に優れている点など、代替品はありません」。

お住まいを数年前に新築され、今回はライフスタイルの変化に合わせてキッチン部分のみをリフォームされたとのこと。

「機能面では、お手持ちの食器や調理器具に対して収納が足りなくなっていたこと、またダイニングとは別に、キッチンでも軽い食事をとりたいたいというご要望をうかがいました」とおっしゃるのは、KOBESTYLEの山本由紀氏。さまざまな個性あふれるキッチンを製作している同社にとっても、コーリアン®のワークトップとステンレスキッチン、特に今回採用されたウィッチヘーゼルのような模様があるものとステンレスを組み合わせるの



は、新しい挑戦だったという。「デザインも、素材の組み合わせもこれまでにないものでしたので、製作に携わりながら完成を楽しみにしていました。メーカーとして、品質と使いやすさに配慮しながら、菅先生のデザインや、お施主様の想いを最大限くみ取って形にできるよう、新しい技術や部品も導入しました」。

カウンターテーブルを兼ねるコーリアン®のワークトップは、強度を保ちながら、薄さを際立たせるため、テーパーをつけた仕上げに。デザインコンセプトのひとつであった「浮遊感」を表現できるよう、蹴込み板を鏡面仕上げのステンレスにするなど、こだわりは数えきれない。

「これからも、「こうしたい、これが好きだから」というお客様の要望に、柔軟に对应していきたいですね」と山本氏。その心意気が、デザインと品質、使い心地を両立した、長く愛されるキッチンを生み出しているのだろう。

使用色  
ウィッチヘーゼル



●設計 株式会社菅匡史建築研究所 菅 匡史  
●キッチン製作 株式会社 KOBESTYLE  
兵庫県神戸市東灘区向洋町中6-9 神戸ファッションマート10F  
TEL : 078-857-8424 <http://www.kobe-style.co.jp/>



どんな雰囲気も自由自在。  
オーダーメイドの楽しさを実感

リブレ 宮崎本社ショールーム





1 堂々たる存在感のL字形+アイランドキッチン。「タンブルウィードはやわらかな色合いに透明感のあるクラッチが入っていて、高級感もありますね」と東郷氏。2 アースを採用したアイランドキッチンは、モダンデザインの家具のような佇まい。3 サクラの木目が美しいキッチンには、モンタナポーラーホホワイトのワークトップが採用されている。

色も素材も設備も自由に選べるオーダーキッチンメーカーのリブレ。使う人の好きなものやこだわりを丁寧に形にしている同社の多彩な施工例を見ると、「キッチンは、こんなに自由でいいの？」と驚くことだろう。2017年4月に3台の新しいキッチンを追加してリニューアルした宮崎本社ショールームでも、同社の提案の幅広さを実感することができる。

まず、ショールームの中でも、そのサイズと重厚感で目を引いているのが、框付きの扉デザインでクラシッくな装いのL字形+アイランドキッチン。深みのあるブラックの扉はナラ材で、同社が開発した墨汁による染色仕上げだ。「木目を生かした黒の扉材を作りたいと考え、新技術の開発に取り組んできました。表面だけの塗装ではなく、漆器のように墨汁を塗り込んで、深い色合いをだしながら、木の質感も生かす方法を完成させました」と同社代表取締役社長 東郷彰氏。

ワークトップにはプライベートコレクションのタンブルウィードを採用して、エレガントな雰囲気。扉の存在感にひけをとらないよう、アイランドキッチンはタンブルウィードに黒いラインの入ったデザインで、ワークトップに72mmの厚みを持たせてゴージャスな印象を演出。もう一台は、コンパクトでモダン、ディテールはシンプルな仕上げながら、ワークトップとカウンターテーブルと一体化させるなど、特徴あるデザインのアイランドキッチン。ナチュラルな木目の扉材とプライベートコレクションの濃色のアースを採用したワークトップという、コントラストの効いた組み合わせも新鮮だ。ワークトップの厚さは24mmに抑え、スタイリッシュなインテリアともコーディネートしやすいキッチンだ。

3台目の新作は、サクラの扉材とモンタナポーラーホホワイトのワークトップを組み合わせたナチュラルな雰囲気でも温もりのあるアイランドキッチン。40mmの厚さにデザインされたワークトップは、キッチンのサイドまでつながるゲート型でポリウレームのあるデザインだが、モンタナポーラーホホワイトの透明感とアールをとった角の仕上げがやわらかさも演出。折りたたみ式のカウンターテーブルには、子どもが上にもの重量に耐えられる頑丈な金具を採用。家電を含め、ものが見えない収納キャビネットなど、子育て世代にもうれしい提案が詰まっている。

「コーリアン®の最大の利点は、木材と同じように自社工場加工ができること、重厚感ややわらかさなど幅広い表現が可能なこと。今後はさらに高級感のある加工や仕上げの方法を開発したいと考えています」と東郷氏。

同社の自由な発想とあくなき探究心が、コーリアン®で実現できる表現の幅を、さらに押し広げてくれることだろう。

使用色 (左から)  
タンブルウィード、アース、モンタナポーラーホホワイト



●社名 リブレ株式会社  
http://www.libre-kitchen.com/  
●所在地 宮崎県北諸県郡三股町鑿池 3628-3  
TEL : 0986-52-6850



いつまでも快適に。  
地域の人を見守るカウンター

医療法人社団敬悠会 副都心病院



L字形のカウンターは、病院の入り口と待ち合いの両方向にスタッフの目が行き届くよう配慮したデザイン。文字は切り抜き、裏に透明の亚克力板を貼って、内側から光を当てている。

使用色  
シラスホワイト



●所在地 東京都豊島区要町1-18-5  
<http://www.fukutoshin-hp.jp/>  
 ●設計 依田英和建築設計舎

池袋の隣町でありながら、閑静な住宅街が広がる豊島区要町に新しい病院がオープンした。「もともとは、理事長、院長のご祖父様が、この土地で地域に密着した診療所を開かれました。そのご遺志を継ぎ、あらたに療養型病院として、副都心病院を開院されました」とおっしゃるのは、設計を担当された依田英和氏。療養型病院は、急性期の治療が終わり、慢性期に入った人が療養を目的に入院する。そのため入院が長期にわたることもある。

「患者さんにとっては、ご自宅と同じように長い時間を過ごす場所になりますから、病院らしくない病院になるように心がけました。ホテルのように寛ぎを感じていただきたいという思いもあり、インテリアは、落ち着いた色やわらかさを意識しながら、モダンなデザインとしました。素材については、経年後も美しさを保てるものを選んでいきます」と依田氏。

たとえば、病院の入り口から待ち合いへと続く空間の壁面は塗装やクロスを避け、キズや

衝撃に強い化粧板を採用。受付の背面は大理石張りだ。上質な素材でコーディネートされた空間で、優しい輝きを放つ丸みを帯びたL字形の受付カウンターは、コーリアン®。プライベートコレクション シラスホワイトで作られている。足下に向かって絞られた錐形の三次曲線デザインで、カウンターの前に立つても足先があたらない。

「塊のように見せたかったので、目地ができず、継ぎ目が見えない素材で、蹴込み部分まで一体化したデザインにしたいと考えました」と依田氏。まさに、コーリアン®の特性にぴったりの形状だ。「実はコーリアン®が好きで、住宅設計ではラバトリーボウルやキッチンシンクなどによく採用しています。耐候性はもちろん、耐薬品性にも優れ、今回のような病院建築でも安心して採用できる素材ですね」。

地域に寄り添う病院の顔として、コーリアン®のカウンターはいつまでも、美しく、快適な使い心地を提供していくことだろう。

# CORIAN® DESIGN

Make Your Space™

## 「コーリアン®デザイン」はじまる。

1967年の誕生以来、コーリアン®は、  
空間をより美しく、ユニークで機能的にする「空間創造素材」として  
建築家やデザイナーの感性を刺激し、  
高品質を求めるクライアントの要望に応じてきました。

そしていま、あらたな未来へ向かうために。  
「コーリアン®デザイン」は  
新しいブランドコンセプトのもとに  
これまでにない意匠とビジネスビジョンを掲げて  
次の一步を踏み出しました。

「Make Your Space™」。  
コーリアン®はどんな空間でも、あなたらしいデザインをサポートします。

### 代表よりご挨拶

コーリアン®は2017年に誕生50周年を迎えました。その間、日本市場においても空間を創造するインテリア素材として、多くのお客様にさまざまな用途でご使用いただき、無限のデザインの可能性を示すことができました。そして誕生50周年記念の年に、コーリアン®はブランドコンセプトを刷新しました。今後とも、コーリアン®をご愛顧くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

MRC・デュボン株式会社 代表取締役社長 井前 史生

コーリアン®ニュースはWEBでもご覧いただけます。 [www.corian.jp](http://www.corian.jp)

#### ◎施工事例募集

コーリアン®を使用した施工事例を募集しています。詳しくは下記までお問い合わせください。

#### MRC・デュボン株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山1丁目15番9号 第45興和ビル TEL:03-5410-8551 FAX:03-5410-8501

©MRC・デュボン株式会社 著作権:いかなる形式においても許可無く、本誌の一部または全部の複製を禁じます。©2018 DuPont-MRC Co.,Ltd. All rights reserved.  
CORIAN®, コーリアン®, Make Your Space™, DuPont™は、米国デュボン社もしくは米国デュボン関連会社の登録商標または商標です。

CORIAN®  
SOLID SURFACE